

2023年9月12日

各 位

荒尾市
熊本大学大学院生命科学研究部
荒尾市民病院
一般社団法人荒尾市医師会
フォーネスライフ株式会社
NEC ソリューションイノベータ株式会社

【熊本県荒尾市】連携協定締結のお知らせ

～産学官連携で健康寿命の延伸と健康格差の解消によりウェルビーイングの実現を目指す～

熊本県荒尾市（以下、荒尾市）、熊本大学大学院生命科学研究部（以下、熊本大学生命科学研究部）、荒尾市民病院、一般社団法人荒尾市医師会（以下、荒尾市医師会）、フォーネスライフ株式会社（以下、フォーネスライフ）、NEC ソリューションイノベータ株式会社（以下、NEC ソリューションイノベータ）は、相互に連携を図り、地域社会の発展及び活性化に資するため、連携協定を下記のとおり締結しましたので、お知らせいたします。

本協定により、産学官6者間が連携することで、市民の認知症や脳卒中などの「将来の疾病リスク」および生活習慣病に関連する「現在の体の状態」の可視化と、一人ひとりに適した生活習慣改善のサポートを行うヘルスケアサービス「フォーネスビジュアス」（別紙）を2024年1月より活用し、熊本大学生命科学研究部による結果の解析と観察研究の評価をもって、荒尾市の住民サービス向上および健康・介護サービスの継続的な提供の実現性を検証してまいります。



○締結日

2023年9月12日（火）

○背景

高齢化やそれに伴う社会保障費増大などは、現代の日本における大きな社会課題の一つです。

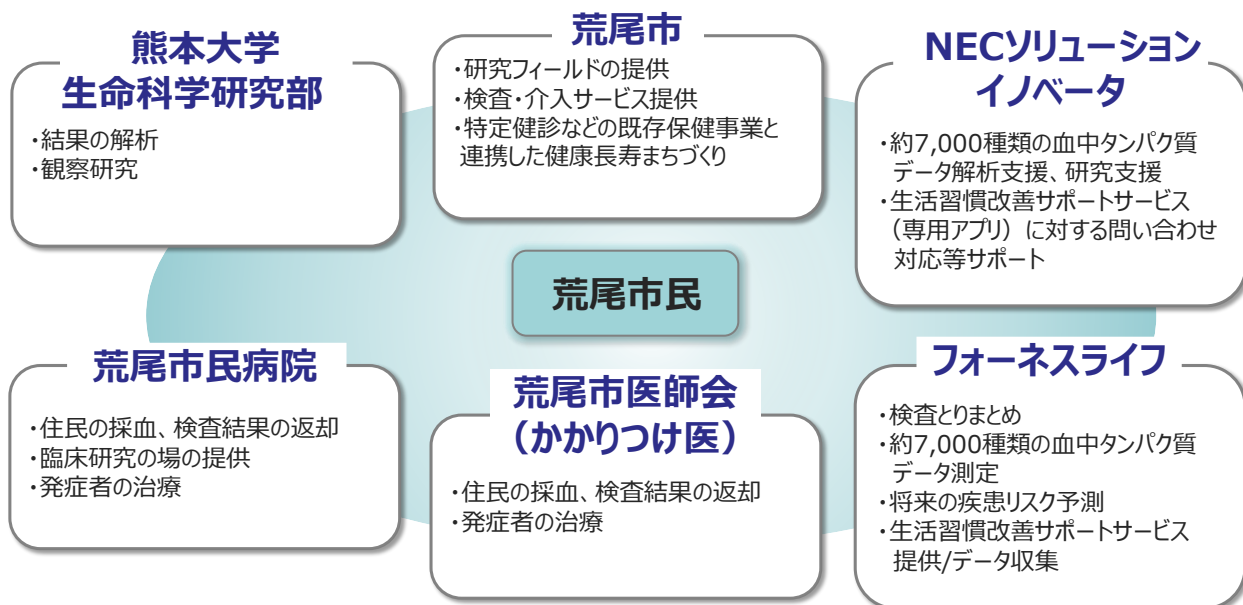
荒尾市においても、2023年7月現在、高齢化率36.46%と3人に1人以上が高齢者であり、2030年頃には75歳以上の人口がピークを迎えると推定されていることから、財政に依存することなく健康サービスを継続的に提供できるモデルが必要となっています。

荒尾市ではこうした課題に対して、先進技術やデジタルの活用で、市民の方々に健康的な生活習慣への行動変容を促すスマートシティの取組を推進してきました。健康寿命の延伸と健康格差の解消の実現、ウェルビーイングの向上を目指し、健康長寿のまちづくりを更に発展的に推進するため、荒尾市・大学・医師会・民間企業などの産学官で連携し、健康で長生きできる仕組みづくりや介護給付費の増加抑制など市の財政健全化に向けたモデルの構築を目指すプロジェクトを開始します。

○6 者間の連携・協力内容

本協定は、6者それぞれが保有する技術やノウハウ等の強みを生かして連携および協力し、以下の検討を行うことで、住民の健康寿命の延伸と健康格差の解消を実現し、ウェルビーイングの向上実現を目指すことを目的とします。

- (1) 荒尾市民に対し、フォーネスライフが荒尾市民病院及び荒尾市医師会の医療機関を通して提供するフォーネスビジュアル検査サービスに関する検討
- (2) フォーネスビジュアル検査サービス結果を基にした荒尾市、熊本大学生命科学研究部、荒尾市民病院、荒尾市医師会、フォーネスライフ及び NEC ソリューションイノベータの共同研究に関する検討
- (3) 共同研究結果の社会実装や荒尾市の住民サービス活用に関する検討



<< 取り組み中のイメージ図 >>

荒尾市、熊本大学生命科学研究部、荒尾市民病院、荒尾市医師会、フォーネスライフ、NEC ソリューションイノベータは、産学官連携で荒尾市民の生活習慣の改善による健康増進をサポートし、市民の健康寿命の延伸や医療・介護給付費の増加抑制、荒尾市の持続可能な財政経営を目指します。

以 上

< 本件に関するお客様からのお問い合わせ先 >

フォーネスライフ マーケティング本部

E-Mail : contact@foneslife.com

NEC ソリューションイノベータ デジタルヘルスケア事業推進室

E-Mail : pbdh-healthcare-contact@nes.jp.nec.com

< 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 >

荒尾市

地域振興部 スマートシティ推進室

TEL : 0968-57-7622

フォーネスライフ 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-Mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 小室 (携帯 : 090-5537-8309) 担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)

NEC コーポレートコミュニケーション部 野本

電話 : 080-1378-6573

「フォーネスビジュアス」のサービス概要

約 7,000 種類の血中タンパク質測定によるリスク予測（注 1）

少量の血液で、約 7,000 種類のタンパク質を一度に測定する日本初の技術を活用し、「将来の疾病リスク」（20 年以内/5 年以内の認知症（注 2）、4 年以内の心筋梗塞・脳卒中と慢性腎不全、5 年以内の肺がんの発症リスク）を明らかにします。

また、事前の食事制限は不要で、少量の採血のみによる、一般的な検査より身体への負担が少ない検査手法で、耐糖能（注 3）、心肺持久力（最大酸素摂取量）（注 4）をはじめ、アルコールの影響、たばこの影響、肝臓脂肪、内臓脂肪、安静時代謝量などの「現在の体の状態」も可視化します。

コンシェルジュサービスによる健康相談

本サービスでは、検査結果をもとに、保健師の資格を持つコンシェルジュと食事や運動などの生活習慣の改善に関してオンラインで相談（注 5）し、具体的な改善メニューの提案を受けることができます。

「生活習慣フォロー・改善アプリ」の提供

「フォーネスビジュアス」のスマートフォン向け専用アプリ（注 6）で生活習慣改善メニューを提供し健康への意識を高めて日々の取り組みを支援しています。

（注 1）約 7,000 種類のタンパク質を一度に測定する SomaLogic（ソマロジック）社の技術を活用した、日本で初めての検査です。心筋梗塞や脳卒中などの疾病と血中タンパク質の関係性を明らかにするため、幅広い分野の専門家の協力を得ながら、国内外の研究データを活用しています。複数のタンパク質を総合的に評価することで、1 つ 1 つを個別に評価するだけでは分からなかった、“今”と“将来”の健康状態、病気にかかるリスクを可視化し、医療機関の医師を通してご提供します。

※ SomaLogic 社の解析技術を活用した検査は、日本国内ではフォーネスビジュアスが初めてかつ唯一です。

※ 本検査は、個人が医療機関を受診することで利用いただけます。検査結果は、医療機関の医師の診療として個人に提供されます。

※ 医師の判断によることなく、本検査の結果を、疾病の診断・治療・予防等に用いることはできません。診医療機関の医師とご相談のうえ、健康改善にお役立てください。

※ 本検査は、その結果の正確性や、他の検査方法と同等の結果の提供を保証するものではありません。

※ 疾患予測は、将来の発症リスクを評価するものであり、現在の疾病の罹患状況を判定するものではありません。

※ 将来の疾患予測に関する検査結果は、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。

※ 採血時間の指定及び食事制限はありません。

（注 2）5 年以内の認知症発症リスクは 65 歳以上の方にのみご提示します。

（注 3）耐糖能：一般的には、経口ブドウ糖負荷試験 によって測定。長時間の拘束や食事制限、複数回の採血が必要なうえ、血糖を意図的に上昇させるため、身体への負荷が高くなりがちです。

（注 4）心肺持久力（最大酸素摂取量）：一般的には、自転車エルゴメーターやトレッドミルなどによって身体に運動負荷をかけ、その最中に採取した呼気ガスを分析し「1 分間に身体の中に取り込まれる酸素の最大量」として算出します。

（注 5）健康相談は、利用者の生活習慣の改善、健康意識の向上のための一般的な医学情報の提供を目的としており、疾病の診断、治療その他利用者の個別的な状態を踏まえた医学的判断を行うものではありません。

（注 6）アプリは、利用者の生活習慣の改善、健康意識の向上を目的としており、疾病の予防、診断、治療等を目的とするものではありません。